

年末年始 海外旅行予約動向 & 2020 年 HIS 旅のヒット予測発表

—新規就航とラグビー人気の旅先にも変化をもたらす?!—

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区 以下、HIS）は、今年の年末年始（2019年12月21日～2020年1月3日）の予約状況から、海外旅行動向について下記のとおりにまとめました。

順位	総合 (昨年の順位)	航空券 (昨年の順位)	ツアー (昨年の順位)
1位	ホノルル (1位)	ホノルル (1位)	グアム (3位)
2位	台北 (3位)	ソウル (2位)	ホノルル (1位)
3位	グアム (4位)	台北 (3位)	台北 (2位)
4位	ソウル (2位)	バンコク (5位)	シンガポール (5位)
5位	バンコク (5位)	グアム (4位)	バンコク (7位)
6位	シンガポール (6位)	シンガポール (6位)	ソウル (4位)
7位	上海 (10位)	上海 (9位)	バリ島 (8位)
8位	セブ島 (9位)	マニラ (7位)	ダナン (11位)
9位	バリ島 (8位)	ロサンゼルス (13位)	ケアンズ (6位)
10位	ダナン (13位)	セブ島 (9位)	セブ島 (10位)

調査日：2019年11月12日 / 調査対象：HISの海外ツアー・航空券 / 対象出発日：2019年12月21日～2020年1月3日(前年同期比)

令和最初の年末年始は、ホノルル(ハワイ)が総合・航空券ともに8年連続の1位となりましたが、昨年は1位であったツアーでの順位が2位となり、ホノルルのFIT化が進む傾向がみられます。替わってツアーランキング1位となったグアムは、新千歳・成田・中部・関空・福岡空港といった、各地域で展開するチャーター便を利用した商品が好調に推移しております。年末年始は家族でのご旅行が多いシーズンであり、小さなお子様連れでも行きやすい近場のリゾート地として好調です。

例年、年末年始のランキングは定番の旅先に人気が集まることから、大きな差異が出にくい傾向にあります。今年もツアーランキングに変化がみられました。政情などを背景とした、韓国、香港が順位を下げ、代わりにアジアビーチが上位にランクインしております。航空券・総合ランキングにおいては、上海の需要の高まりが見受けられ、背景には成田からの中国南方航空(10月27日～)や春秋航空(12月12日～)の新規就航による座席供給数の増加があると考えられます。また、昨年よりロサンゼルスが大きくランキングを上げておりますが、最大9連休となる年末年始ならではの傾向と捉えております。

9連休で長距離路線が好調に推移

人気出発日は年内に集中しており、年末休暇の前半は海外旅行、後半はご自宅でゆっくりされる、という傾向がみられます。今年も日並みの良さから9連休になる企業も多く、それに伴い、長い旅程が必要になる長距離路線が好調で、特にヨーロッパ、アメリカ方面は2桁増で推移しております。

出国ピークは12月29日(日)、帰国ピークは1月3日(金)となります。

順位	人気出発日
1位	12/29 (日)
2位	12/28 (土)
3位	12/30 (月)
4位	12/27 (金)
5位	12/26 (木)

2020年の旅行傾向の見通し

2020年はオリンピック・パラリンピックイヤーであり、多くの訪日客が見込まれます。夏の繁忙期と重なることから、期間中も含め前後の日程で飛行機の座席が取りづらい環境が見込まれます。近年、海外旅行の予約タイミングは早まっておりますが、2020年はさらに座席の予約タイミングは前倒しになる動きがあると考えられます。また、3月には、羽田空港国際線新飛行経路の運用が開始され増便されること、7月には、年々増加するクルーズ旅行の新たな玄関口として東京港に「東京国際クルーズターミナル」が開港することによる、お客様の海外旅行に対する変化も今後見てまいりたいと考えております。

2020年HIS旅のヒット予測

2020年ならではの需要効果、最近の問い合わせ増加などを踏まえ、HIS社員に「2020年ヒットしそうな旅先」についてアンケートを実施、結果をとりまとめました。

調査方法：HIS社員アンケート / 調査日：2019年11月2日～8日 / 有効回答数：643



サッカーW杯から絶好調が続く ロシア

ダントツの票を集めたロシア。中でも一番注目されているのは極東ウラジオストク。現在、成田と関空から直行便が就航していますが、2020年には日本航空(2月)とANA(3月)の就航が決まっており、更に身近な旅先になること間違いなし。両社は3月から羽田からのモスクワ線就航も発表しており、他にも、アエロフロート・ロシア航空が関空からモスクワ線(6月)、時期は未定ながらヤクーツク航空が成田からカムチャッカ線、オーロラ航空が成田からハバロフスク線、S7航空が羽田からウラジオストク線など、ロシア路線は今後も順次拡大が見込まれています。また、ロシア第二の都市・サンクトペテルブルクが今年10月より、極東に続き電子ビザが導入されたこともプラス材料となり、まさにロシア旅行元年の幕開けと言えるのかもしれない。

<HIS社員の投票コメント>

- ウラジオストクは航空券代も安価、飛行時間も短く、3日間でも行け、電子ビザで入国OKと流行る要素しかありません！
- 現地の方がとても美しくて親切、街がおしゃれでフォトジェニック、料理が美味しいなど魅力が盛りだくさん。



モスクワ



ラグビーW杯で注目度急昇 ニュージーランド



ミルフォードサウンド

大盛況のうち閉幕したラグビーW杯にちなんだ国・地域に票が多く集まりました。なかでもニュージーランドは2位と高位にランクインしております。W杯など、大きなイベント後にある特定の国・地域に観光目的で注目が集まった大会は過去あまり例がなく、スポーツがイメージ向上の一役を担うコンテンツになることを感じました。年末年始のニュージーランド予約動向についても、前年比120%と好調です。

<HIS社員の投票コメント>

- ラグビー人気でさらに火が着きそう。直行便もありアクセスがいいのも◎
- ラグビーW杯の余韻&世界一の星空と治安がとにかく良いです。



2020年は日本と友好130年 トルコ



パムッカレ

年々渡航者数が回復しているトルコですが、建国100周年の2023年に向け、観光客数7500万人以上を目標とすることをトルコ文化観光省が表明しております。ターキッシュエアラインズによる既存の成田-イスタンブール線に加え、2020年には羽田からも就航が決まり、さらに2017年に運休した関空にも再就航が決まっております。また、ANAが羽田-イスタンブール線を日本の航空会社として初就航することが決まり、増便によるさらなる渡航者数の増加が見込まれます。

<HIS社員の投票コメント>

- 早朝のカップパドキアの気球は一生に一度はみたい絶景！治安も落ち着いてきたので絶対流行る！
- 日本とトルコの友好130周年の記念の年のため。



再びブーム起こる！？ サイパン

2018年に直行の定期便が撤退し、日本から訪れる人が年々減少していたサイパンですが、スカイマークが今年11月29日よりデイリーで就航をきっかけに、復活するのでは、という声が多くございました。

<HIS 社員の投票コメント>

○成田からスカイマークの直行便が就航したことにより、アクセスがよりしやすくなったと思う。価格もそれほど高くなく、学生でも行きやすい観光地になると感じた。

○所要フライト時間も短く、スカイマークの直行便が就航するため。



サイパン



聖都エルサレムなど歴史深い イスラエル

2020年3月、エルアル・イスラエル航空が成田からテルアビブへ直行便を就航することをきっかけに、新しい旅先として注目が集まるイスラエル。3つの宗教の聖地エルサレムや、浮遊体験ができる死海など、歴史とリゾートが楽しめます。

<HIS 社員の投票コメント>

○新規就航で直行便が出るのと、アライバルビザで入国ができ、事前取得のひと手間はなし。最近お問合せを頂いています。

○高額だった金額が下がり、価格面でも行きやすくなると予想。

エルサレム
©G2TRAVEL

南アフリカ

ラグビーW杯で一気に身近な国に。世界最大級の野生動物保護区などあり。

○ラグビーを通じて日本と親近感がもてたから若い人が旅行すると思う。また四季もあり、資源も豊富で、これからの国だから。



パース

年中温暖な気候のパース。2019年に直行便が復活し行きやすくなりました。

○ANAが直行便を毎日就航しており、ロットネスト島やフリーマントルなど見どころが満載。世界で最も美しい街はSNSでも話題。



モロッコ

写真からの支持も高いモロッコは、絶景と自然を楽しむことがポイント高し。

○青い町や砂漠など写真映えのスポットが多い！意外と5日間という日数で行ける。
○他の人がなかなかいかないところに行きたい人が多くなってきているから。



ドバイ

超高層ビルや独創的な建物が他にはない魅力。2020年の国際博覧会開催地。

○2020年はドバイ万博が開催される。
○比較的短期間でも渡航でき、他とは違った異国の雰囲気を感じられる。



ミャンマー

日本人のビザ免除施策が2020年9月末まで延長され、行きやすい環境に。

○世界遺産にも登録され、物価も適度に安く、東南アジアで近場であり、ひと昔前よりは旅行しやすい治安になったため。

詳しくは HIS サイトでもご確認いただけます。流行の先取り・今後の旅先の検討材料として参考にいただければ幸いです。

<https://hotels.his-j.com/ct/tripiteasy/?p=16888>

報道関係のお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス 広報室 TEL：03-5908-2346

営業時間：平日10：00～18：30